



# サイジヤナル

月刊  
28-1・2  
第425号

日本サイ科学会 平成 28 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

## 年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、  
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



世界は混とんとしてきました。  
事例は事欠きません。これが、人の誇る理性・科学の結果なのでしょうか。

海外のサイに関する論文に、サイ現象の新しい理論の構築の呼びかけがありました。そこでは、従来の科学は局所理論に基づき、何かのシグナルの局所的なやり取りの枠組みの上に構築されているが、サイ現象はこの方向での形式では

説明ができないとの指摘がなされ、素粒子の世界でもつれ現象を軸に新しい説明の枠組みの提案がありました。

たまたま図形の性質を俯瞰する機会があり図形の本質を考えていた折、形にはその形独特の場を形成することに気づきました。たとえば三角形や円を描けば、それぞれの領域内のすべての点で満たされるべき共通の縛りがそれぞれの形に応じて発生します。そして、その場の性質から、その形に伴う理論がすべて導出されることを確かめました。

一度存在した場が時空に刻まれるならば、これがもつれを生むと考えられないでしょうか。なにか仮説があれば、それを足掛かりに議論あるいは検証の作業に発展します。

サイ科学の一層の発展を期して、皆様の大胆な新しい仮説の提示を望みたいものです。  
皆様のご活躍を期待します。

## 今月号の記事

- ◎ 会長 年頭のご挨拶
- ◎ 一月本部例会のお知らせ
- ◎ 計報
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 二月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局スタッフ大募集
- ◎ 関西サイ科学会一月二月三月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部日本サイ科学会三月研究集会のお知らせ
- ◎ 第27回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 第4回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎ 平成27年2月本部例会報告
- ◎ 平成27年11月本部例会報告
- ◎ 第四百回関西サイ科学会報告II
- ◎ 第四百一回関西サイ科学会報告
- ◎ オープ(たまゆら)の動画を撮影する方法について

## 一月本部例会のお知らせ

※サイ科学の主要研究テーマとなつたオーブ(ORB)につきまして、3名の主要な研究者により、最新のデータを公開していただき、オ

オーブの正体やその機能、メカニズムについて、解説していただきませう。日本における最先端のオーブ研究が分かる貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

## オーブ研究の現状報告 (動画を含む)

講師 佐々木茂美氏

日本サイ科学会名誉会長

電通大名誉教授

講師 佐藤禎花氏

北陸日本サイ科学会長

ieb-college-japan学長

講師 苗鉄軍氏

日本サイ科学会理事、工学博士

内容…講演30分+質疑応答15分を、3名が行う。その後、総合討論。

佐々木茂美…マクロPKの新分野として約3年前からオーブ撮影を開始した。講演では主として、オーブの撮影技法とその結果を述べる。

1. 誰にでも撮れる。デジタル・カメラによる近赤外線域撮影の可否テスト。

最初に偽オーブを撮る(雨滴、スプレー水)。次にズーム無し(偽オーブ混入)。ズーム有り(真オーブが多い)で撮影する。様々な撮影条件とオーブ像との関係。

2. 撮影の意識的な面(霊界との連絡)。はじめに、潜在脳(無意識)並びにチャクラの活性化を行う。

脳波(EEG)を $\alpha$ 波と $\theta$ 波の「境目」にして、両者が入れ替わる時に霊界を呼び込む(例、鏡見の実験)。このために瞑想(または自己催眠)、真言等を用いて「境目」に入る。なお霊界、アカシック・レコード等は脳幹(視床下部)並びに多次元世界にあると推定。鏡(像)見テスト(鏡像は前後が逆転している)。こちら側(我)と真我(あちら側)を拮抗させ、相殺ゼロ場を形成・累積させるとマクロPKが発生する。

佐藤禎花…ieb-college-japanの学長として学生を指導している。特異功能保持者であり3年前からオーブ研究を開始した。霊性の目覚め、ヒーリング等の技法を開発。

オーブ動画を介して、霊界との初歩的な情報交換を、世界で始めて成功させた。このオーブ動画の実際の提示、各種オーブ撮影の実験結果等の報告。その他を述べる。

苗鉄軍…カオス解析に関連した研究と、生体計測関連機器の開発等を行っている。講演会では、画像フラクタル解析法を用いたオーブのフラクタル解析。オーブの分類。オーブ動画のカオス解析。オーブ静、動画の比較検討。オーブ形成メカニズム分析。太極図形との関連性等を報告する。

日時 平成28年1月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

## 訃報

永い間関西日本サイ科学会の事務局を勤めて頂いた木村のり子氏が平成27年12月12日急逝されました。

木村のり子氏は関西日本サイ科学会初代会長の木村六郎氏の娘さんで、父と娘で永年関西日本サイ科学会の発展のために尽くされました。

心からご冥福をお祈りいたします。

「心を科学する博物館」と  
一般の御寄付御礼  
(12/14受領分まで)

金五万円也 小澤 佳彦様  
金二千三百円也 小牧昭一郎様

## 二月本部例会のお知らせ

## 靈魂觀の現在

講師 正木 晃氏

あらゆる宗教にとって、死後世界や靈魂にまつわる教説は欠かされません。ところが現代の宗教、とりわけ日本の仏教界はこの領域に對してすこぶる消極的です。その原因は明治以降、欧米から導入された近代仏教にありま。

すなわち日本の仏教界は、近代化の過程で、合理主義に偏向した結果、仏教を生の世界だけに閉じ込め、死後世界や靈魂にまつわる探求を避けてきたのです。現に、伝統仏教界において、靈魂の存在を認めている宗派は日蓮宗と高野山真言宗にとどまり、他の宗派は認めないか、曖昧な答えに終始しています。

今回の講演では、日本人の伝統的な靈魂や死生觀を学びつつ、近代化の過程で犯したあやまちを指摘し、今後の展望を示唆したいと考えます。あわせて宗教と科学のあべき関係を、この領域ではは

るかに先行する現代キリスト教神学をふまえて、論じます。

※正木晃先生は日本密教、チベット密教を深く研究され、修行がもたらす心身変容とその視覚表現が主な研究テーマです。精神科医とともに不登校・引きこもりを防ぐ運動も実践されており、宮崎駿らのアニメを題材に、宗教的伝統的な智慧を解きほぐすセミナーなども開催されているなど、幅の広い活躍をされている先生ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

## ◎正木 晃氏のプロフィール

1953年、神奈川県小田原市生れ。筑波大学大学院博士課程修了。国際日本文化研究センター客員助教授、中京女子大学助教などをへて、現在は慶應義塾大学文学部・立正大学仏教学部非常勤講師。専門領域は宗教学。日本とチベットの仏教を中心に、修行における心身の変容、宗教図像学などを研究。著書に『密教』・『増補チベット密教』（筑摩書房）、『マンダラとは何か』・『宗像大社―古代祭祀の原風景』（NHK出版）、『現代

の修験道』（中央公論新社）、『空海と密教美術』（角川学芸出版）、『現代日本語訳 法華経』・『お坊さんのための「仏教入門」』・『マンダラ塗り絵』シリーズ（春秋社）など多数がある。

日時 平成28年2月13日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みです。

## ◎事務局スタッフ大募集

現在の事務局は一人体制で、

1. 毎月の理事会・本部例会の準備と運営、会員管理、刊行物の注文応対
2. 「サイジャーナル」と論文集

「サイ科学」の編集＋発送準備をこなしてきましたが、年齢的にきつくなってきましたので、事務局の仕事を前者と後者の2つに分割することになりました。

そして、前者1.を担当する新しい事務局のスタッフを並列記憶能力が高い20代～40代の会員か、会員のお知り合いから募集することになりました。

最初は幹事として役員会等にも出席し、数ヶ月で引き継ぎを受けて、問題なければ7月から正式に給与の出る事務局スタッフになっていたと予定です。

資格は首都圏在住、ウインドウズ・パソコンで「WORD・EXCEL」等のソフトが使える、機械音痴ではなく、多少の几帳面さと責任感を持てる方です。会員とのやりとりはメールが主体で、通常のルーティーンのお仕事に就いている方でも、兼職は可能です。詳細につきましては、事務局にメール願います。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

関西日本サイ科学会  
一月研究集会のお知らせ

地震予知・20年間の検証

講師 森川 薫氏

日時 平成28年1月16日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター  
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千円 一般三千円  
学生一千円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会まで

関西日本サイ科学会  
二月研究集会のお知らせ

運の良い人、悪い人それぞれ  
の潜在意識はどうなっている  
のか?

講師 佐田 弘幸氏

日時 平成28年2月20日(土)  
午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター  
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千円 一般三千円  
学生一千円

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会  
三月研究集会のお知らせ

命をつなぐ

講師 畑田 天真如氏

日時 平成28年3月19日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター  
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車  
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員二千円 一般三千円  
学生一千円

問合せ072・445・7737

中部日本サイ科学会  
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成28年3月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛<sup>3</sup>癒院<sup>3</sup>ホール

名古屋市昭和区御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車  
3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎

問合せ052・871・9060

第27回宇宙生命研究分科会

第8回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成28年3月27日(日)

10時30分～17時45分

会場 品川健康センター3会議室  
(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分  
JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅」行

で「新馬場駅前」下車  
会費 会員一〇〇〇円(日本サイ  
科学会・サトルエネルギー学会)  
一般二〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

第4回スピリチュアル研究  
分科会のお知らせ

大いなる存在との不思議な  
出会いから目覚めて

講師 大石 陽子氏  
(スピリチュアルヒーラー)

霊能者というよりシャーマン(高次元の神霊などと繋がり、直接交流する役割を担った人)と呼ぶに相応しい方です。ある時、大いなる不思議な存在と出会ってから高次元のエネルギーの波動を媒介として知人たちにヒーリングを施すようになり、病院では治らない病気とか憑依による霊障、さらに運の悪い人や人生をネガティブに歩んでいる人にも光明を与えて元気をとり戻したと感謝され、世の

ため人のためにその使命を負っているものと自覚されています。

ヒーリングによる癒しやサイコメトリー（物に残る人の残留思念を読み取ること）などの実演を披露し、さらに花々からのメッセージを受けとる方法などをお伝えして、一人ひとりの意識が靈性に目覚め、世直しの大きなうねりへと広がっていったらと願われています。

体調の思わしくない人、霊障ではないかと思われる人、不運続きの人などは必見です。

### ○大石陽子氏のプロフィール

フエリス女学院短期大学卒。現在は埼玉県の新神泉村の山里で自然に親しみながら、知りの人々にヒーリングを施しながら、日常生活では、テレビ、ラジオ新聞などは一切視聴せず、自然界からの恩恵に感謝しながら、無農薬の野菜や山野草を使った自然食、健康食、日本の伝統食など研究。人間の命や靈性（エネルギー）を高める為の食生活・子育てに大切な食育活動を通して、日本人の精神性・情緒を大切にする生き方を啓蒙しています。

日時 平成28年4月24日（日）

午後1時20分～4時30分

会場

北とびあ9階902会議室

交通

JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札

会費

会員 一千元 一般 二千元  
学生 一千元

※定員次第で締め切りますので、

参加希望者はお早目にお申込み下さい。

参加予約は公式サイト

のスピリチュアル研究分科会の欄の

フォームからお申込み願います。

<http://homepage3.nifty.com/PSIJ/>



### 平成27年2月本部例会報告

#### 物質化現象 無から有は生じる

講師 スワミ氏（氏名非公開）

とき 平成27年2月14日

ところ 北とびあ701会議室

#### 1. 幼少期のUFO体験と進学

「幼少期より、理解が困難な現象に遭遇し、特に多数のUFOを目撃しました。小学校4年生の7月20日、その山（広島県呉市の灰ヶ峰）に登りますと、地球上の生命体とは思えないような姿形をした動く物体2体と遭遇しました。幼い私にしたら、『宇宙人に遇った』という表現になってしまいます。非常にグロテスクな形でした」

宇宙人の話をすると皆が嘘つき呼ばわりするので、信じて貰える人になるため大学の物理学の先生を目指し、小学校時代から独学で相対論や量子力学を学んだ。高校では2つの大きな疑問にぶち当たった。

#### ① どうやって宇宙ができたのか？

#### ② なぜ宇宙が必要だったのか？

念願の筑波大学に入り物理学を専攻したが大学院には進まなかつた。

「そして、レーシングドライバーとして、数々のレースで、国際レースにも出て、レーサーとしてずっと活躍しておりました」

命を懸けた一瞬の判断を求められるレーサーの経験に鍛えられて、

その後のインドでのメチャクチャな修行にも怯むことがなくなっていた。

#### 2. 物質化現象、研究から実践へ

ある日、深野一幸氏に出会い、その超常現象研究の意気込みに非常に感銘を受け、深野氏の講演に同行しているうちに、物質化現象を研究することに決めた。

「物理をかじった人間としましては、この物質化現象という現象だけは捨て置けなかつたのです」

インドの聖者サティアサイババの元に向き、1対1で話をした。「手からニョキニョキニョキと竹の子が生えてくるように、仏像が物質化して出現して、それを頂きました」

帰国し、その仏像を手には、サイババの物質化現象の講演を行った。「その2年後ぐらいでしたか、日本中サイババブームがやってきました」

次に、サイババ以外にも物質化できる人がいるのではないかと、アジア中の心霊治療家や聖者を探して、

「どうやったらできるのか？」と尋ねて回った。しかし最後は「エンジェルがね」

「神様がね」

誰もがそういう答えをいう。調査・研究は行き詰まり、もはや自分自身で物質化するしかなくなっていた。そして遂にインドで物質化を覚えてくれる、とある聖者を見つけ出した。

### 3. エンジエルの召喚とインドでの学びの終了

グルと二人で特殊なブジャ(神への祈りの儀式)を行い、願いを一つだけ叶えるエンジエルの召喚した。

「そのエンジエルが出現したときは、もう震えて緊張して声もでないくらくらです。『Please give me super natural power! (奇跡の力を下さい)』そう言うと、そのエンジエルが、『オッケー、アイギブユー スーパーナチュラルパワー』と日本人の英語で話し、その瞬間にいなくなっちゃったんですね。するとグルが『銀の指輪を買っとけといつただろ? 渡すな! 本当に銀の指輪だな? OK、じゃあその銀の指輪を、今から金の指輪に変えろ!』というのです」

元素の周期律表や銀を金に変換する原子核反応などを想起していたスワミ氏に、さらにグルは言う。

「お前の考えそうなことはすでにわかっている。いいから変えろ! こないだ教えたろうが、あのマントラでも唱えとけ!」

そのマントラを唱え、10分弱、「よかろう、開けてみろ!」

「ほんまじゃ、変わっとる!」指輪は金に変わっていた。

「それが《私の手のひらのなかで起きた最初の奇跡現象》です。そのときやっとわかったんです。そうか! エンジエルとの関係性が先にできたので、エンジェルに頼んでこの物を変えてくれただけなんだ。だからみんなが言っていたことは全部本当のことだったんだ。自分が勝手に嘘だと決めつけていただけだったんだと」

### 4. 聖者達の物質化現象の方法

「出す物を先に買っておきます。そして、ある特殊なブジャをやって置いておく。手を回すのは『ここですよ!』という合図なんです。『ここにワームホールを今から作りますよ』と。で、この場所と置いてあったところを、ワームホールによって同じ場所にするんです。で、手をつつ込んで取ればいいだけです。有る物をこっちに移動させただけなんです。だからそ

のことを知った私は結構落胆しましたよ。『無から有が生じているのではないんだ。私の本当に求められていることじゃあないんだ』と」

### 5. フィリピンの魔法学校の開催

インドで物質化をマスターし、ジャイナ教最高峰アーチャリーグルの元でも学んだスワミ氏は、次にフィリピンの心霊治療の最高峰ジュンラボ先生の元に行き、ある人のところで心霊治療を習い、体得した。

「ブラッドタイプという血が出現する心霊治療を4日ぐらいでできるようにになりました。その後、フィリピンで、魔法学校を開催することになり、魔法学校の教頭という形で、魔法の顕現に関することをずっとやってきました。インドでの勉強はまさにほんの入り口、いかにこの世界は広いのか、我々は何も知らないのだ、ということをお思い知らされました」

空飛ぶ吸血鬼アスワンとの戦いや、心霊治療で心臓を取出したり、宙に浮く患者を押さえたりといった、科学では全く説明できないオカルト映画の世界のような体験談が続く。

「お腹から亀を4匹出したかな、生きたミミズとか蟻とかいろんなものが出てきましたね。《バラントアイブ》というブラックマジックで

す。人の身体の中に物を送り込むタイプですね。そういったものを取り除かないと、問題の解決はできません。それをやる人がいます。《エクソシスト》といいます。そして私は《エクソシスト》です」

しかしトニー先生が亡くなりフィリピンの魔法学校は終わりとなった。

### 6. タイの洞窟の「天の扉開き」

現在、スワミ氏はタイの「神聖秘法術科学学校」を開き、洞窟で「神の世界のドア開け」を行っている。

「ビッグバンの非常に小規模なもの、それが目の前で観察できます。『宇宙が始まったビッグバンの瞬間は、超高温』との通説は、それは嘘だな、ということがよく分かりました。今からお観せする現象は、人間の手を離れて客観的に起こる現象です。ですから、物凄く意義があると思うんです。物が出現する前にピカーッと爆発が起きます。そしてその後に、色々な物

が落ちてきて、それを受け止める天幕を張っています。結構分厚い布です。そこに非常に大きな音を立てながら、バラバラバラバラつときます」

### 7. 「天の扉開き」のビデオ上映

「まずは、爆発が起きます。そして落ちてきます。落ちてきたものが下でまた光りました。これ違う角度のカメラです。これ非常に面白いものが撮れました。上で光るんですが、横のところから飛び出してきます」



「超小型ピックバン現象」洞窟上部で発光があり、爆発音がして、物体が落下してくる

「これは洞窟を下から上に真上に見上げて定点カメラで撮影しているシーンです。人工的な照明は一

切使えないので、ローソクだけです」

「インターサウンマハー」

司祭の唱えるマントラが流れる。

「いま唱えているのは、神様のドアを開ける《鍵》のマントラです。そうするとドアが開きます。爆発が起きました。ドアが開いて物が発生する音がします。このバラバラつという音です。天井までの高さは30m位あったかもしれせんね」

「別のグループが撮った映像です」読経と、木魚のような音と、金属をたたく金属音が鳴り響く。

「爆発とともに出てきたのが、非常に長い、パヤサミンレックで、長いときは20mでも30mでもいくらでも伸びてきます。金属状の形をしますが、蛇のようにクネクネと動いてきます。これは神の世界が開いたときに向こうの世界から降りてくるんです。先端部が金属状に光ります。時には目の前にきて、グニョグニョする場合があるそうです。私はまだその体験がありません」

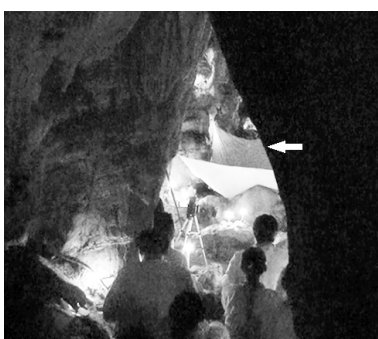
「横から物質化して大きなものが飛び出してきました。途中から物

質化しているところが見えます。

これは真上から撮った定点カメラの映像です。スローで見てくださいます。ここで影になって、ここから物質化が始まりました」

物体が現れる《瞬間》の映像が流れた。読経が止まり、その驚愕な映像に会場は静まり返った。

「次が新しく発見した映像です。音速を超えて物が出現したために、その場所の空気が衝撃波となって布の上に与えたものではないかと、今私は推測しています。布のところに現れてくれるようにと頼んでおりますので、布の表面で現れるのと、下側で現れる場合があります。下側で現れる場合は布の下に落ちていくわけです。それで下をよく探したらいくらかもあつた」



2015年8月、筆者のビデオカメラで撮影  
天幕上にはごぼし大の物体が落下していた

「では、幕の上で出現する瞬間を、超スロー映像で見てください。黒いのが、今現れましたね、ポイント。あの映像をよく見てください。あんなにちっちゃな物でこれだけ波たつのですから、もつと優秀に映像を解析したら、最初の波が下から持ち上げられている場合と、下に向かって下げられた場合があるかもしれません。これだけ波立っているにも関わらず、それに相応する量の物が発生していないのではないかと思われんですが」

8. 人間を構成する三要素(肉体、魂、JIT)とスピリッツについて

休憩後、スワミ氏の「天の扉開き」の解説が始まった。

「私は、この《非物理的世界》の中に、いかなる存在が、どのような形で、何の目的で、どのような役割で存在しているのかについて、徹底的に学び、体験し、実践し、確信に至っております。《非物理的世界》の存在が動いて様々な理解困難な現象を起こしているのだという大前提に立って物事の動きを見ていくならば、その《非物理的世界》の世界地図が綺麗に書いて

いきます。私はそのような存在を《スピリッツ》と呼んでおります。これはフィリピンの魔法学校で使われてきた言葉です」

「人間には魂の他にJIT(ジッ。以下JITと表記)という《非物理的》なものが存在しています。魂が存在している場所は心臓の心室の中です。JITは脳みそのところに存在します。多くの人々が一生で使う脳の割合は5%から7%だと類推されていて、死んだあとJITは消滅し、魂だけになります。」

9. 脳みそを50%以上使った人は死後《ジッ融合体》になる

「脳みそを50%以上使くと、肉体が消滅したあとJITは消滅せず、魂と融合します」

※魂とJITが融合したものを《ジッ融合体》又は略して《ジッ》と表記することにします。

《ジッ融合体》になると、死後に魂だけになったあとに行くべきタウエースワン(閻魔王)のところにいくことがなくなり、輪廻転生の輪から外れます」

肉体の死後、魂とJITが融

合し《ジッ》になる。《ジッ》を《スピリッツ》ということもある。その《ジッ》は正統な道であるテワダーの道の他、ルーシーの道、エントイテイの道など進むべく道が多数ある。

「数万年前の方々は、様々なことにセンサーを張り巡らせていかなど生命の危機があり、脳を50%以上使っていた人が沢山いたんです。テワダーの道じゃなくて、別の道を選んだ《ジッ》がいます。それらの《ジッ》はどこにでも存在できるんです。空気の中でも、水の中でも、そして地の中でも。洞窟の中にも数万年前の《ジッ》が住んでいます。そして彼らの望んでいることは、学んでもっと上へ上がることです」

10. 洞窟の中の《ジッ》たちの役割

「洞窟の中に《ジッ》たちが沢山住んでいます。プジャーリー(司祭)がインターサーバンマハー」といってマントラを唱えていく。そうすると神がドアを開けます。《天の岩戸開き》は、美女ウズメノミコが踊りましたがそれでは一

種類の神様のドアを開くことしかできません。しかし『天の扉開き』のやり方ですと、様々な種類のドアを開けることができます。何故ドアを開けてこつち見るのか。彼らが勉強するためには《プラプッタジャウ》(ゴータマシッダルタ、お釈迦様)の言葉が必要なんです。そのマントラを唱えたならば、それを聞きたいからドアを開けるんです。ドアが開いたので、神の世界のエネルギーが流れ出してきま



「天の扉開き」で物質化した神聖物の数々。神聖物の中には《ジッ融合体》

そして、プジャを行う司祭のJITと洞窟に存在する《ジッ》とが関係性を持って、どのようなものが欲しいのかという設計図をこの《ジッ》たちに与えます。神の

世界のドアが開いてエネルギーが流れ出してきて、この設計図を持った《ジッ》とエネルギーとが一緒になったときにその設計図通りの物質が出現するんです」

「4大要素でこの世界は成り立っているといわれています。地の要素、水の要素、火の要素、空気の要素。『天の扉開き』で一番多く使われるのが地の要素です」

「物が出来上がった瞬間、火花が飛び出たときです。それはドアが開いたときです。それでエネルギーが流れだしてきて《ジッ》によってここに物質が出現する。この物質が出現した瞬間は熱くないです。ですから、いま見られたように、空間をかき分けて物質がポツと出たわけですから、空間のひずみ、あるいはそこに空気があれば衝撃波も出るでしょう」

11. 宇宙創造時の物質化現象と低温ビッグバンの可能性

「同様に宇宙を創る場合、テーププーサンという創造主と呼ばれる神々が持っている《ジッ》が、どのようなものが欲しいかという設計図を考えます。その設計図に対



してエネルギーが必要になります。エネルギーが《ジツ》を使って物質を創るんです。これが《クリエーション》いわゆるものが出現するメカニズムです」

「推測の域を出ませんが、ビッグバンの瞬間、その最初に物質が宇宙の元の大きな塊を物質化させた時には、熱くなかったはずですが、しかしこの三次元に発生するときの、何かの反作用によって、大きな熱が発生したのではないかと思われれます。」

12: 「神の扉開き」の手法はJITを飛ばして教えて頂いた

魂がもし身体から出たら即刻肉体の死を意味します。死ぬ以外で魂が外に出ることは絶対にあります。幽体離脱は魂ではなくJITが出たんです。このJITを出す特別の瞑想法、特別のやり方やっていくならば、JITを自分の身体から外に出して自由にどこにでもいけます。神々の世界にも行って、直接マントラを教えて貰ったり、色々な英知や疑問の答えを貰って帰ってきます。そのようにしてこの手法を生み出しました。JITを外に出して色々なところ

にいつて色々なことを知ることが出来る人のことを《アンタルヤミー》とインドでは言われます。あらゆることが知ることができ、最近では、150年前位に活躍されたシルデイサイババという偉大な聖者は《アンタルヤミー》と云われていました。

そのようにして、英知というのは築かれてきたのです。『神の世界のドア開け』もそうです。

さて、そろそろ時間ですので、皆さんから質問があれば受け付けます」

### 13: 質疑応答

① Q 光って爆発したのは、破壊の神シヴァ神が関わっているのか？

A. シヴァではありません。私はインドではシヴァ派です。シヴァは不要を破壊し必要を再生する神様でテープポツポンの最高レベルです。

② Q. ガイヤモンドや黄金などを頼んだら出てくるのか？

A. 「欲しい」といっただら出ません。「もしそちら側から見ると、我々に必要ならば、一番あっているならば、それをどうぞお与え下さい。」

我々からは何も要求することができない立場にはありません」というマントラを唱えていかなければなりません。

③ Q. パヤサミンレックの役割は？

A. 我々を護る役割があるのだから。

④ Q. パヤサミンレックは人が操る人工物では？

A. 自分で、足を運び、そこにいれば、それは直ぐに分かります。

⑤ Q. 物質化は洞窟内での大音響のマントラの共鳴がダークエナジーに働きかけて起こしたのでは？

物質化現象にマントラは必須なのか？

A. 山の上でも物質化現象は起きました。テープレコーダーでマントラを再生してもJITがないから物質化現象は起きないでしょう。

⑥ Q. 真言密教の空海の評価は？

A. 私は真言宗のお寺の出ですが、海外が多いので日本のことは良く知りません。

⑦ Q. 超能力者が空中から出したお金を使った後、神棚にお金を供えて消していたのを見たことがある。物質化現象は貰うだけでなくお供え物を捧げることも大切か？

A. お供え物は凄く大切です。超能力者のおこす物質化現象はカッポレなどのスピリッツとの関係性を知らずに持った場合に起こります。

⑧ Q. 地球文明の今後のあり方として、もつと知られて欲しいですね。

A. 沢山の方が体験をし、司祭も行うことができるようになれば、世の中変わると思っています。我々日本の歴史の中で『天の岩戸開き』という、神様のドアを開けたという神話があるんです。その神話をみんなで実現していったならば、それは認められる世界になっていくんです。

⑨ Q. 凡人でも物質化現象を起こすことができるのか？ 物質化現象は般若心経の『色即是空空即是色』と関係ないのか？

A. 過去世で学んだことやスピリッツとの関係により、修得のしやすさに違いはあるかもしれませんが、手法を修得すれば皆できるようになります。般若心経の原典はサンスクリット語です。『色即是空空即是色』のくだりは『ルーパン』つまり『現れる』あるいは『今すぐやってください』という意味です。

⑩ Q. 超常現象は「意識が現象を作る」という考え方で説明できるか？

⑪ そのが傲慢につながります。思いを超えたことをスピリッツにやっつて貰って、もっと良くしていきましようという方向に、もっともつと発展させていくことができますかと思えます。

⑫ Q. この物質化現象は $E=MC^2$ に則っていないと考えていいか？  
A.  $E=MC^2$ は物質が出来上がった世界の中で、ほぼ成り立っている現象だと思えます。私がいつているのは、その $E=MC^2$ が成り立つ世界を創り上げたときのメカニズムの話です。

【参考サイト】

- ① 天の扉開き公式 Website  
<http://www.amanotobira.com/>  
② 第9回 UFO・オーブシンポジウム 小澤佳彦「無から有へ、エネルギーの物質化について」  
<https://www.youtube.com/watch?v=y1v7UWQNKkQ>

☆ ☆

講演は驚きの連続だった。講

演後「この世とあの世の《解体新書》」そんな言葉が浮かんできた。

このレポートを、スワミ氏に何度も何度も助けられ、講演の日を目前にして、九十歳という若さで自宅で天寿を全うした母元子に捧げる。

(日本サイ科学会会員 小澤佳彦)



平成27年11月本部例会報告

野性と霊性・ヒトの原点  
「直立二足歩行」から問う

講師 坪井 香譲氏

「8気流法(身体技法)創始者」



坪井香譲氏のプロフィール

早大哲学科(心理学専修)卒。少

年期にロマン・ロラン、ユング心理学に触れ、弓道と合気道等実践。1980年ビジョン体験で身心技の極意の一つに出会い、∞(メ

ビウス)気流法創唱。この30数年来、国内にとどまらず、フランス、ドイツ、ベルギー、ノルウェー、オーストラリアなどで定期的に講習、各界の人々が参加している。パリ国立舞踊研究所、朝日カルチャー新宿、相模女子大(非常勤2003~2006)講師歴任。  
『やわらげの武』最高師範。著書『メビウス身体気流法』平河出版社、『気の身体術』工作舎等多数。ブログ「文武随想録」。

◎講演内容

〈からだ〉のことは からだに習う  
「松のことは松に習え、竹のことは竹に習え」と俳句の極意、あるいは基本を、芭蕉は説いた。  
俳句に限らず、極意と基本はほとんど重なるように一つであることが多い。

実は〈からだ〉のことも同じだ。  
〈からだ〉のことは〈からだ〉に聴き、習う。

最も身近な〈自然〉としての〈か

らだ〉は、松や竹と同じく、よく観じ耳を澄ますようにして謙虚に集中していけば、その真相をあらわにする。

〈からだ〉の裡に自然がある、ともいえるし、〈からだ〉は自然の裡にある、ともいえる。

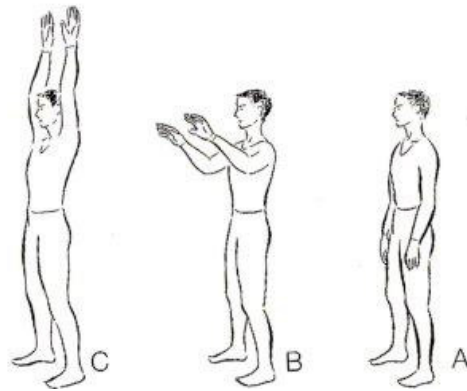
〈からだ〉の裡にある〈原自然〉、天然を大切にすることは、生き物としての基本的な〈マナー〉ではないだろうか。自然としての〈からだ〉を受け容れ、その響きを聴くことから、身体の活動や技法すべては始められてゆく。(そうすることで人は、生な〈原自然〉とは異なった位相に入る。)



エクササイズを始める前提に行う基本中の基本

「3R(スリーアール)」

「3R」は、Relaxation, Relation, Realizationの三つ。リラククスとつながりと実感・集中の三側面のことである。三つの原則なので「三則」とも言う。



たとえば両腕をできるだけだけゆっくり高く上げてゆく。これは腕の動きのようにだが、深くリラククスして集中し実感してゆくと、この両腕の動きが、脇腹、下腹、腰へ…と次々につながっているのが感じられる。そうした場所が呼吸して動くのが感じられる。すると両腕の動きはほとんど全身の運動でもあることが少しずつ実感されてゆく。

つまり、そのようにして体の各部へ「あいさつ」してゆくことになり。すると部分は全体に連っていることが実感されてゆく。そうすると実感された身体の部分が、より鮮明に「あいさつ」してくる。また、そうして目覚めた各部同士も呼吸して一層互いに「あいさつ」をしてゆくということになる…という具合である。

リラククスしてる？ リアライズ（実感）してる？ そこにつながりがある？ …と問いつつ、全身のひびきを聴く、ひびき合いを感じる…というのが「3R」の第一歩、いわば身体による「自問自答」の作業なのである。

こうして意識のネットワークが全身に張り巡らされ身体深部にまでゆきとどくようになる。これだけで、呼吸は自ずと深くなり、立ち方や歩き方の姿勢や動作のめりはりが相当変わってくる。様々なジャンル、スポーツや武道や芸術、医療などの人々が、その技法や集中力を大いに進展させている。

身体は、一冊の書物に似ている。その裡に多様な言葉と英知を含んでいる。

ただ、それを読み解くには鍵が必要だ。それが〈身体の文法〉という発想である。

「身体の文法」(※註)と、それに伴う技法は、大きく次のように分けられ、相互に密に関わり合っている。

- ① 重力に沿って重力を活かす。  
技法「垂直気流」
- ② 息のリズムに則って息を活かす。  
技法「息をかんずる」
- ③ 動きは〈巡り〉となる。  
技法「やわらげ」

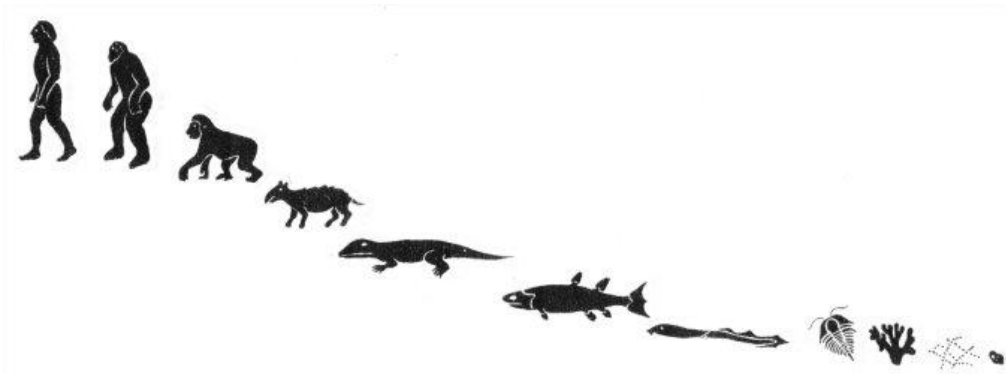
さらに、この三つの〈文法〉を、すべて円転と渦の原則が支えていることに基づく技法「うづたま」がある。玉を用いて行う。

そして窮極は、〈直立二足歩行〉という人間の原点に発する「歩み」の技法に至る。これらを養生法、日常の身ごなし、運動や芸術の集中やバランスに活かし、対決を和へと誘う武術にも活かしてゆく。

人の原点、〈歩く〉からはじめる

ヒトが人間となった原点とされ

る「直立二足歩行」。遙か数百万年も前からこの二十一世紀まで、人類は歩き続けてきた。



人は直立二足歩行によって、道具の使用や言葉の獲得など…様々のことが可能になった。そうした能力の獲得から、文化、文明も進展してきたとされる。とすれば、人間の立ち方、歩き方をとらえなおし、そのあり得べき原則があるとして、もしそれをとらえることができるならば、人間の個人の生活も、健康も、文化や文明のための活動や様式も根本的に洗いなおされ、新たな視点が導き出されるのではないか……。

足の裏と大地(床)が出会い、(親和)することによってこそ、人の(歩く)意味合いが出てくる。そのことは相当忘れられてしまっている…。あらためてそのことを問い直し、∞気流法の「身体の文法」に照らした稽古法「歩きの型」ができた。

・∞(無限記号、メビウスの環)状態の動き(やわらげ)は、足の裏と歩き方にこそ活かされるものだった。

・なんと、宮本武蔵がこの歩き方のコツを説いている(『五輪書』)。  
・足の裏が大地と(親和)するこ

と。ナンバ歩きを伝える現代の研究者たちもそれについては触れていない。

・一歩一足、大地と出会う、そのプロセス自体が味わい深いものとなる。それはつまり一歩一歩を(使い捨て)にしないことである。

右のようなことが実感されつつ、実現されてゆくための技法が「歩きの型」なのだ。

始めた人の中には、足が暖かくなったとか、目がよく見えるようになったとか、姿勢が変わって足運びが楽になった、肚(ハラ)が少しできた感じがするとか、武術の技も劇的に変わった人もいる。しかし、このような身体的な変化だけではない。

片方の足の裏は体表の200分の1。そこに人と地球(自然)との出会いも、立つことと歩行を根源とするあらゆる身体活動も、術、芸、表情、言語活動、思考、想像力でさえかかわってくるのである。

足裏の 広さに 人の立つ不思議  
薬師寺の上 雲 流れゆく

(福田光子)



(※註) 日常生活の立居振舞い、芸術、武道、スポーツ、健康法などを行う際の様々な身体活動に通底する法則性を「身体の文法」とする。∞気流法はその「身体の文法」を実感し、体現するための技法である。それによって様々な身体活動の可能性を拓くと同時に、人や自然との出会いをより深くし、創造的な共感の世界を実現しようとするものだ。常に、言語、身体、想像力がそこに関わってくる。

※東京(多摩市、新宿区)、名古屋、大阪、関東各地で定期講習会・見学体験日有り

連絡先/∞気流法の会

電話042・378・6648

E-mail lab@kiryuho.com

ホームページ

<http://www.kiryuho.com>

ブログ「文武随想録」

<http://d.hatena.ne.jp/tsuboi>

kajo+2/



第四〇〇回関西日本サイ  
科学会研究集会報告(Ⅱ)

永遠の生命―死は真つ赤な嘘、  
死ぬのは真つ平ごめん、人類  
は死に完全勝利した。

講師 梶原 和義氏

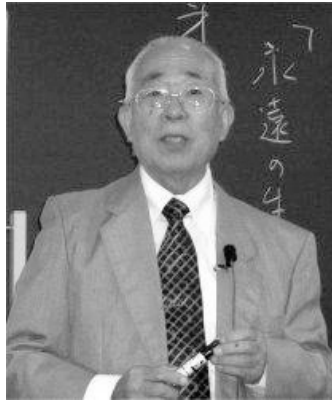
とき 平成27年7月18日  
ところ 大阪科学技術センター

(前号からの続き)

日本の総理大臣は、国民の生活が豊かになるように政治をしようと、盛んに言います。アメリカの大統領、ロシアの大統領、ヨーロッパの首脳も、同じことを言っています。それらの人々は、生活が豊かになってどうするのか。もう分からないのです。だから人間は何が本なのか皆目わからない世界に生きています。どんなに生活が豊かになっても、やはり人間は死んでいくのです。

宗教は死んだら極楽に行く。死んだら天国にいけると説いている。これは真つ赤な嘘です。これは死んだら5000万円あげますという生命保険と同じ言い方です。5000万円の死亡保険金をかけても、本人は受け取れないのです。奥さんか子供さんが受け取るのです。死んだら本人はいないから受け取れないのです。死んだら、極楽や天国に行くべき本人はもういないのですから、絶対に極楽、天国には行けないのです。このように宗教は行けるはずがないのに、死んだら極楽や天国に行けると、堂々と嘘をいつている。人々を堂々と騙してお金を取っているのです。

極楽、天国は生きているうちに行くのです。イエスは今神の国を探索と言っています(マタイによる福音書6・33)。水からと霊から生まれて神の国に入れと言っています(ヨハネによる福音書3・5)。また、「生きていて私を信じる者は、いつまでも死なない」(ヨハネによる福音書11・26)と言っているのです。



今の人間は死ぬ世界にいます。絶対に死ぬことをカルマと言います。人間はどうしても行きたくないところへ来てしまった。これが人間の業(ごう)です。

人間は生まれてくる前に命を裏切つて死んでしまった。そこで、強制的に地球に放り込まれたのです。エデンの園から追い出された

のです。地球には命を裏切つた犯罪者ばかりがいるのです。必ず死ぬという死刑囚ばかりがいる世界ですから嫌なことがいっぱいあるのです。ガン、エイズ、脳溢血、脳梗塞等の10万種類の病気に満ちている。災害、詐欺、犯罪、人間関係の矛盾などがいっぱいあるのです。

ところが人間は死にたくない、死にたくないと思つている。これは一体どういうことか。絶対に死んでしまふと思つていながら、絶対に死にたくないと思つている。切願しているのです。これは一体どういう事か。

つまり1人の人間の中に、2人の人間がいるのです。絶対に死んでいく人間と、絶対に死なない人間と、2人いるのです。

絶対に死んで行くのは何かと言いますと、自分がある、自分の命がある。自分の人生があると思つている人格です。全ての人間は自分が生きている、自分が生きていると固く、固く思い込んでいます。

ところが自分はいないのです。人間は自分の意志で生まれてきたのではない。生まれてくる国を自

分で選んだわけではありません。世界にはアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、インド、中国、韓国、エジプト等、200余りの国がありますが、生まれる国を自分で選んだ人があるでしょうか？

日本に生まれたとして、両親を自分で選んだのでしょうか？ 今日本には2000万くらいの世帯主がありますが、それを自分で選んだ人があるのでしょうか？ また、生年月日を自分で決めた人があるのでしょうか？ 奈良時代、室町時代、鎌倉時代、江戸時代、現代といろいろありますが、それを自分で選んだ人があるのでしょうか？

男女別を自分で選んだ人があるのでしょうか？ 自分の顔を自分で決めた人があるのでしょうか？ 自分の服は自分で選んで決めています。乗っている車も自分で決めました。何でもいいですから車をくださいという人は多分いないでしょう。ましてや自分の顔です。一生使いますから、自分の顔なら絶対に好きな顔を自分で決めます。ところが顔を自分で決めていない。嫌な顔でも変更できないのです。自分の名前さえも自分で決めていないのです。だから、今いるの

は自分ではない。これらのすべてを自分で決めていないのですから、今いるのは自分ではないのです。自分はいないのです。これが人間には絶対に分からない。これが人間のカルマです。どうしようもない人間の業です。

釈尊は、人空（人間はいない）、生空（人間が生きている事もない）、我空（自分はいない）と喝破しました。これが、五蘊皆空です。

病気になるって困るのは自分です。地震が来て困るのは自分です。津波が来て困るのは自分です。死ぬのが困るのは自分です。もし自分がいなくなったらどんな事があっても困らないのです。困る自分がないのですから、困らないのです。死んでいく自分がいないから、現世を去るとしても気楽です。

人間は生まれてくる前に何をしていたのか。いるはずがない自分がいると、思ってしまったのです。これが悪魔に同意した事になるのです。そこで死んでしまった。命の本源である神を裏切って、悪魔に同意した。だから死んだのです。

人間が地球に生まれたのは何のためか？自分が本当にいるかいないのか、ということをはっきり見

極めるためです。もし本当に自分がいない事が分れば、もう1回生まれてくる前にいた、命の世界に戻れるのです。仏典で言う彼岸、聖書で言う神の国です。ここに帰れるのです。魂は神を裏切る前に、ここにいました。これが私たちの本当の古里です。ここに帰ることが、人生の唯一無二の目的です。商売をして大儲けをするか、大会社の社長になるとか、国会議員や、首相、大統領になる事が人生の目的ではないのです。そういう事でも命を獲得してください。それからゆくりと、商売でも政治でも、好きな事をしたらいいのです。思う存分好きな事をしたらいいのです。

人間は自分が生きている、自分が生きていると、固く、固く思い込んでいます。ところが心臓を自分で動かしている人はいません。もし心臓を自分で動かしていたら大変です。夜、絶対に眠れません。寝たら止まってしまうからです。心臓を自分で動かしていないから、夜ぐうぐうと眠れるのです。

呼吸も自分はしていません。も

し自分で呼吸していたら、夜、眠れません。自分で呼吸していないから、眠れるのです。腎臓も肝臓も脾臓も、胃腸も自分で動かしているのではないのです。

すべての人は、自分が生きている、自分が生きている、と思っっています。本当に自分が生きているのでしょうか？人間は空気が水、太陽光線がなければ生きていきませんが、それらを自分でつくっているのでしょうか？人間は空気がなかったら10分間も生きていられません。その空気を自分でつくっているのでしょうか。穀物、野菜、果物、肉類、魚介類を、大自然の恩恵なしに、自分の力で作れるのでしょうか？

人間は一〇〇％大自然によって生かされているのに、自分が生きていると思ひ込んでいます。これが死んでいく原因です。

自分がいるという考えは天使長ルシファーが勝手に考えたもので、これは真つ赤な嘘です。釈尊が人空、生空、我空というように、自分はどこを探してもいません。自分がいるというのは大嘘です。人間はこの嘘を本当だと思ひ込んでいるので、死んでいくのです。こ

れが人間のカルマです。業です。嘘を信じなかつたら、死なないのです。

なぜ人間は死んでいくのか。いない自分をいると考え、実在しない現象を实体と考えているからです。

日本には幸運にも、般若心経があります。現在般若心経は、インド、タイ、ミャンマーにもありません。日本だけにあるのです。宗教ではない般若心経を正確に学ぶと、人間の間違いが大部分かかってしまうのです。その後には宗教ではない聖書を正しく学ぶと、死なない命がはっきり分かってくるのです。

私は幸いにして、死なない命が分かりましたので、書いて70冊出版しました。電子本を含めると130冊になります。数年前に、「死は真つ赤な嘘」という本を書きました。この本が「全日本図書館協会選定図書」になりました。もしこの本の内容がでたらめで、インチキなら、全日本図書館協会選定図書にはならなかつたと思います。日本の歴史が始まってから、日本人が全く分からなかつたこと、今、世界中の人が全く分からなかつたこと、死か

ら脱出する方法を書いていますので、宜しかったらお読みください。

さらに、「我死に勝てり」「死なない人間になりました」「あなたも死なない人間になりませんか」「死なない人間の集団をつくりまします」という本を書いて出版社に送りましました。順次出版されると思います。

今、世界中で、毎日毎日、多くの人が死んでいきます。死ぬ命を自分の命だと思ひ込んでいるからです。私はこれが、残念で、残念でたまらないのです。何とかして死なない命を人々に伝えたいと思ひているのです。

死なない命の勉強は根気よく勉強する必要がありますので、機会をえて、何回もお話ししたいと思ひています。(梶原和義)

☆ ☆

当日の参加者は会員13名、非会員15名、学生2名、計30名でした。

●永い間関西日本サイ科学会の事務局を勤めて頂いた木村のり子氏が平成27年12月12日急逝されました。今後の連絡は会長河野明夫(072・445・7737)にお

願います。

なお、講演記録のテープ販売は当面中止します。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

#### 第四〇二回関西日本サイ科学会研究集会報告

「水と珪素の集団リズム力」  
いのちの水はコロイダル

講師 中島 敏樹氏

とき 平成27年10月17日  
ところ 大阪科学技術センター

中島敏樹氏は昭和16年生、石川県出身、水産大学校卒。平成7年ニッスイエンジニアリング(株)取締役、平成12年・23年 東洋化学株式会社技術顧問

誘電分極の原理を用いて、水集団の新たな振動領域(500〜4000kHz)を世界に先駆け明らかにした、また、気、想念、音響など微弱エネルギーを水を通して測り、その本質解明の道筋を

つけた。



「いのちを成している水とは、どのような水なのだろうか」。

ミクロな素材に科学者の焦点が当てられている。だが、この宇宙には構造の仕方で自己組織化を果した無限のモノが顕在化している事は誰一人として疑う余地は無い。水も物質、「集団になることの意味」を求めて、水の本質「性格」を模索している。水は数千万個から数億個の集団構成の動的リズムで自己触媒力を発揮している。定量的物性値「ゼータ電位とその粒度分布」の物性値データで補完した「いのちの水はコロイダル」について話します。

水と珪素が「命」を生み育む場の媒体です。土星の衛星エンケラドスの生命体存在の可能性も水と水

溶性珪素ナノシリカと熱の存在の確認でした。それは生命を成す自己組織化の三大要素です。「寄り集いて和し、群れて輪す」との我が研究の根幹作用そのものです。半世紀も前に赤血球の可逆分化や初期化などを実証した千島学説のAFD現象「Aggregation 寄り合い、Fusion 溶け合い、Differentiation 分化発展する」とのシンクロに意を強くしています。

水の二つの生命エネルギー「水素結合」と「双極子特性」と珪素の生命エネルギー「強い水素結合」と「表面陰電荷力」そして常磁性に關する話です。触媒能、酵素能を発揮する大事な媒体に關する生命場の話に他なりません。中島の新分析手法で治験したサイエネルギー、サトルエネルギー、音響エネルギー、超低周波(4〜13Hz)律動エネルギーの連携的な治験事例を述べます。

1. 集団になることの意味について

集団になることの意味とは、端的に言って「命の水」を生み育むことです。物質として顕在化するにはエネルギーのゆらぎ凝集に始

まり、ビッグバンを経て素粒子が生まれ、原子核が生まれ、宇宙の晴れ渡りで原子が生まれた。原子同士がうなり合い分子を形成、物質の顕在化が伸展し現在の宇宙が存在する。

遡ること38億年前、宇宙の奇跡「生命体」が地球上に誕生したので。水と珪素が、生命体の素となるコアセルベートの一等最初のコア(核)を成し、奇跡のドラマが始まった。命を生み育む自己触媒作用をなす場の媒体のお陰である。「寄り集いて和し、群れて輪す」とのいのちの根幹作用そのものです。千鳥喜久男博士はじめ先哲/先達の凄いい見に助けられ、水溶性珪素コロイドの実践と理論の結びとして、一つの科学的視点を示すことができました。

『人体は電解質と云うより、むしろコロイドで成り立ち、いのちしている』

## 2. 生命体誕生の「核」となり「魂」を成す水溶性珪素コロイド粒子

水の緩やかな塊は「核」となる非晶質「水溶性珪素コロイド粒子」と出会い強い塊となる。さらに周囲環境を抱き合い、会合を重ね集団

を囲う会合体が芽生える。「自己組織化」の原点です。そこに新たな集合体の脈動の命が芽生える。古来より「命は自然に生り出るもの」として、多くの人々は受け止めている。命の自然発生の本意とは「相互扶助が為す多様性の叡智」にあると云えます。

水と珪素の常磁性集合体自らが成した新たな集団の秩序「連成調律リズム」の脈動そのものが「命」魂ではないでしょうか。命の磁性生体エネルギー「魂」が「場の調律リズム」を奏で、秩序が秩序を生み重ね(自己組織化)、会合体を構成する個の方向性を整え、維持していると考えられます。脈動する微弱な生命エネルギーを発生する「生命体誕生」の類推です。

## 3. 粘土食「モンモリナイト」一名水溶性珪素の検証

理に合った人類の土食文化について、粘土の薬用解毒作用、消化機能を高め滋養強壮に直結する整腸作用、殺菌・浄化・癒し作用などが人類誌に語られている。地球には生命自助浄化力がある。花崗岩の生理活性触媒作用、玄武岩の界面活性溶解作用、かんらん岩(マ

グマ)の水質浄化分離除去作用である。大地が成す生命循環、免疫作用、溶解作用、分離アトックス作用を自然は備えている。自然の摂理を遵守し生命誕生が成された筈。必然的に生命体は、その掟をDNAに刷り込んでいる。粘土食や粘土治療の話とは、ミネラルの核「珪素」そのものの働きを述べたものです。好事例としてフンザの氷河乳コロイドやNASAも宇宙飛行士の健康維持に重宝しているコロラド川のアゾマイトやイオンミンなどのモンモリナイト(珪酸塩粘土鉱物)があります。

## 4. 人工的水溶性珪素UMOの実体に迫る物性値との整合性

最近、ケイ素ニストに持てはやされる珪素の生命機能発揮の条件とは、水と相互作用ができ常磁性を発揮することです。珪素は酸素と組むことで常磁性を発揮し、且つ表面陰電荷を発揮することで。もう一つは水溶性です。水分子と一体で浮遊同居できることです。その大きさは、水の3次粒子200nm以下であり、2次粒子20nmと同等程度以下がベターです。さらに触媒機能を最大限に発揮す

るには1次粒子2nmと同等程度であればベストです。

この様な条件を満たす人工水溶性珪素UMOは高純度の水晶を2000℃超の高温で気化したアモルファスの一種です。安定した表面陰電荷力を発揮する優れたものです。実績年数を重ね、生命的な機能は数多く実証されています。

珪素は水溶性珪素の状態では細胞に吸収されず。シリケート4面体の珪素(SiO<sub>4</sub>)は、水分子同士が水素結合する以上に強く水分子と水素結合している。純水を作るため蒸留を幾度繰り返しても、最後まで水と共にあるのは珪素だと科学は認めている。このような状態を水溶性珪素と見做しています。

微生物の生命活動の産物、あるいは、植物自らが根毛から根酸を出し岩石を溶かし体内に取り込んでいるのです。ちなみに人工的に岩石からミネラルを抽出するには塩酸、硫酸、クエン酸等が用いられている。

細胞のアクアポリン(大きさ7(8Å)を通過する際、水は単分子化するという。このアクアポリン細胞壁の陽電荷(+)(例えば水素イオンや窒素イオン)が、関所



これがシューマンレゾナンス（地球の共振7.8Hz）をキャリアーとして、両者間に同調（共鳴、共振）、を生じさせるのであろう（マクロPK）。

さきに、上記の（1-2）で触れた様に、特異現象（マクロPK）が生起した時の生体内では、「緊張とリラックス」、換言すれば「陽と陰」が同時に進行している。つまり体内でも「物質に類似した相殺ゼロ場」が形成されている事が推定できる。これらは「意識」と「無意識」、「交感神経」と「副交感神経」の拮抗対峙を意味するのであろう。

#### 4-2) まとめ

緊張とリラックスを対峙させて「相殺ゼロ」を体内に創り、これを離散的に累積する。体内に形成された「相殺ゼロ」と、体外のオーブ上の「相殺ゼロ」を同調（共振、共鳴）させる事により、意識とオーブ間の情報交換が可能になる（マクロPKが生起する）。これをオーブ動画撮影によってほぼ確かめる事が出来たと判断している。

（写真は都合により省略）

的に水分子の水素結合を切断し単分子化するという。だが、中島は水分子同士の水素結合よりはるかに大きい水素結合した珪素と水の水素結合を切断する事は困難と考えている。つい最近、「太古の水」治験でその根拠を示すことができた。製造最終工程が「時間をかけた蒸留」という。蒸留水の筈なのに乾燥すれば珪酸塩ミネラルが驚くほど多い。珪素は水分子と水分子同士の水素結合よりも強く水素結合しているからである。

5. 超常感覚ESPや念力PKなどの作用と脳波やシューマン波の関連性

微小なものほど高周波数振動を成し、大きなものほど低周波数の長波長を発している。だが、素粒子を凌ぐ極超高周波振動とスピリチュアリストの脳波レベルの超低周波数振動の平常心との整合・補完性に大きな疑問を感じている。

リュック・モンタニエ博士の「DNAの電磁波伝達にはシューマン波振動の存在が必須」との研究発表を根本泰行博士が紹介している。また、志賀一雅博士が「アルファ波における右脳と左脳との

コピーレンシーについて、シューマン波の存在が「気」ではないだろうか」との推論を述べている。中島は超能力者、気功師、そして匠の意念エネルギーの治験で気付いた事がある。皆さん平常心で気負いも無く淡々と治験にに応じている。無垢な平常心こそ何よりの集中力であり、動植物や自然とも一体となり交信できる波長域ではないだろうか。

また、脳波域5・6〜13Hzの振幅2mmの律動機器タップマスタを用いた実験結果では、9〜11Hz辺りが水の秩序性、活性化に適している。単調な律動であり、印加時間も7〜10分程度の印加が適宜である。但し中島が治験している振動は振幅2mmの動的振動であり微弱な電氣的電磁波振動ではない。当然だが、電解質系の溶液より、コロイド系溶液への影響力が顕著であり、また無機系より有機系の物質を含有する水溶液が変化に富んでいることが分かってきた。生命体対象では、精神性の微弱電磁波の効用と肉体的ゆすりの効用が、何故かシューマン波やアルファ波の振動域でシンクロしている気がしてならない。医師によ

る律動機器の治験ではスローアルファ波以下の低周波域が幼い子供  
の脳波育成に適しているとの知見  
結果も報告されています。

統合的に判断すれば自然が成す、  
宇宙普遍に存在する場の磁性を有  
したエネルギー媒体が地球大気の  
鼓動で揺れ動き、生命場の根源的  
触媒作用を成している様子が観え  
る。以心伝心の情報を乗せた搬送  
波である連成生体波が気負わずぶ  
れずに平常心を維持しつつ、その  
場の媒体秩序にシンクロしてこそ、  
生命体健康に大きく寄与できるの  
ではないだろうか。スピリチュア  
ルの健康とは自然が成す無垢な平  
常心のリズムなのかもしれない。  
深謝（中島敏樹）

☆

☆

当日の参加者は会員12名、非会  
員24名、計36名でした。

（関西日本サイ科学会会長

河野明夫

本報を参考にして、未訓練者は練習・実施して戴きたい。そしてオーブ(たまゆら)にお願いして、「それぞれのお願い」を叶えさせて貰いたい。たとえば、あたかも気軽に携帯で知人(先祖霊)を呼び出す様に。

### 3. オーブ動画の実験結果

デジカメを用い、焦点を遠くにあわせて(望遠ズーム法)撮影・観測した。別報(PSIJ.2015年11・12月号)にも述べたが、この時に得られた(ズーム拡大してから写した)オーブ像は、変形しやすい柔らかい綿状集合体の光子雲群であり、大部分は乳白色である。しかし時々黄、オレンジ、赤、青、等に变化する場合もある(近赤外光~可視光の間で变化する)。ゆらゆら(回転する)、くねくねと、柔軟に変化して、踊る。勢いが増して2個に分裂する場合もあるが、また1個に戻ってくる。ときにはモニターの枠外に飛び出すが、「キテ」、「キテ」…と、お願いすると、すぐに戻ってくる。不思議なことに、液晶モニター上には、お願いした一個(今回は、略称「金星ちゃん」)だけが飛び込んでくるが、時には、別のオーブ、例えば「シリウスちゃん」が飛び込んでくる場合もある。また、出現オーブに話し掛けると、飲んで踊ってみせる。その他。この時、ポジティブで遊びの感覚が必要になる。

「オーブ動画」観察の途中で、シャッターを「全押し」して、切り取って静止画を求めた。この一例を写真6枚に限定して報告する。写真No.1(望遠、ズーム)はハンディ・カメラで写した全体像。オーブが液晶モニター(下側に倍率表示)上に写されている。デジカメの液晶モニターの下側には遠くにある街の灯(電灯)が写っている。写真No.20150306(金星オーブA)、は2015年3月6日、金星(オーブの略称A、B、C…)は切り取り静止写真像の番号。柔らかい(ダイダイ色)の円形綿状オーブが写されている。写真(金星オーブB)は、陰陽の巴型のそれぞれの結合状態がより強くなり、ついに二つ割れになって右側はダイダイ色、左側はややキイロとなる。写真(金星オーブC)は、その二個のオーブが移動して「く」の字形になって写っている。ただし、色は混合して左右はほぼ同一となっている。写真No.20150207(金星オーブD)と写真(金星オーブE)は、2015年2月7日に、同一場所で撮影されたもの。前述とほぼ同一形状寸法のオーブが写された。つまり再現性はある。

以上、形状と寸法は5枚の図ともほぼ同一で、色合いや形が多少変化している(分裂もある)。

### 4. 検討と考察

マクロPK(念力)とは、意識と体外にある物質とが、直接に相互作用しあう現象である。なかでも、意識による物の変化が研究対象になる。念力の存在は、古くから知られていたが、どの様な機構で生起するかについては、不明であった。著者らは、メタルベンディング、透視、念写、ゼロ磁場、パワー・スポット等の実験研究を続けてきた。それらの中から生まれたモデルに「相殺ゼロ場仮説」がある。これがより普遍的な仮説であれば、物質と意識の両者に適用される筈である。この物質面の一部は、上記の(1-1)でも触れた。ここでは、対象を「意識側」にうつして、検討する。

#### 4-1) 意識的な「相殺ゼロ場」とは

物質を対峙させて相殺ゼロを造る。相殺ゼロとは、(陰のちから)+(陽のちから)=0(ゼロ)をいう。離散的に(原子内電子の量子飛躍の様に)、それぞれの陰、陽の力を増すと、ゼロの値の累積が生ずる。この離散的な「ゼロの値の累積値」が或値(不安定点、変曲点)に達すると、(1)マクロとミクロ、ならびに(2)意識と物質、の変換、(3)マクロPK発生、等の諸変化が生ずる。(1)としては、たとえば「カシミール効果」がある。物質の相殺ゼロを進めると、接触局部の接点では、マクロ現象がミクロ現象に変わる事になる。つまり、マクロの固体(例、金属)同士を対峙させて加圧すると、遂には、構成する要素(分子、原子、素粒子)先端の原子間結合力が作用し合って、逆に引力が発生して、くっつくことになる。これを「カシミール効果」と言う。これは、マクロ現象「物質」がミクロ現象「素粒子」に変わる事を示しているであろう。(2)としては、点状のゼロ場では、意識と物質は、両者に共通した「ゼロ」の場を介して、交流しあう。ただし両者は、ともに素粒子状である。この理由として、意識は脳活動に関係があり、脳は物質である。上に述べた様に、物質のより深い所では、オーブも脳も、同様に微細化が進み、両者は素粒子状であり、また、容易に変換が生ずると判断できる。(3)として、両者は素粒子状で、共通な性質を持つので、共振や共鳴が起き得る、つまり「マクロPK」が、生起する。仲介する物質はサイ(気)であり、素粒子群(光子群)でもある。

Master：佐藤禎花師、SDKなど）が唱える密教六字真言の音声振動解析、—— ①唵(ong、オン)、②嘛(ma、マ)、③呢(ni、ニ)、④叭(bai、ペ)、⑤咪(mi、メ)、⑥吽(hong、フン)(この内容は、身体の上部から下方へかけての6個所のチャクラに対応している)——、を唱えた時の音声・振動をカオス解析して「フラクタル次元D2」等を求めている。訓練上達者等が行った結果をみる、

- (1) 音声の順番①-②-③-④-⑤-⑥に対応して、D2は、↓小-↑大-↓小-↑大-↓小-↑大、という様に、交互にリズムを伴って変化している。
- (2) この時のD2は3.82以下になる。
- (3) 音声と同時に測定した指尖脈波(体内の気血の循環に関係)のカオス解析結果によると、Lyapunov指数(カオスが生起するか、否かの判定)は次第に大になっている(カオスに成る)。また、
- (4) 指尖脈波の解析からは交感神経並びに副交感神経が、同時に、次第に増加している。これらの実施と解析を別の人達(非訓練者、通常人)にも同様に行って比較・検討したが、通常人(非訓練者)の場合には、リズムは無く、D2はそれよりも大であり、(3)(4)に見られる様な変化は存在しない。

なお、以上(1)、(2)のD2は、別に、相関次元とも言い、カオスを生み出すに必要な変数の数を意味している。また(3)のLyapunov指数は「揺らぎ」を意味し、カオスになる事への変化傾向を示している。さらに(4)は、緊張とリラクスを同時に進行させる事を意味している。解釈であるが、D2の減少の傾向は、雑念の数(変数)を減少させる事により意識を集中させ、そして、意識を零にする。次のリズム変動後のD2の増加は、意識は極薄いのでリラクスと無意識から来る変数(雑音)の増加を意味するのであろう。また、通常人も訓練すれば(1)~(4)を得る事ができる。従って通常人に関して、密教六字真言を唱えた時の音声振動と脈波を測定し、カオス解析を行う事により、未知現象を生起させる為の前提として、雑念の減少程度(意識集中の程度、コヒーレンシー)とリラクス(無意識、雑念の増加)の程度等を判断することが出来る。つまり、密教六字音声読誦によって6個所のチャクラを活性化させ、カオスとしての「ゆらぎ」を増し、意識と無意識の両者が強く拮抗対峙する様に、訓練することが要望され

ている(サイ科学Vol.31、No.1、pp.9-17、2009等参照)。具体的な条件設定は、脳波を出来るだけ下げ(α波、θ波の境目まで)零意識(変性意識状態、ASC)になり、意識と無意識を強く拮抗対峙させた後、無意識層に刷り込んでおいたイメージ(願い事)を意識に昇らせてサイ(気)現象を生起させる。

## 2. オープ動画の測定方法

オープン(たまゆら)は近赤外線領域に潜んでいるので、肉眼でみる事はできない。そこでデジカメの液晶モニターを用いてオープンを観察する(測定する)事にした。デジカメのシャッターを半押しにすると、カメラからは近赤外線が放射されるので、モニターの視野内にオープンが写り込めれば、液晶モニターに映ることになる。そして、これらの全体の動きを、別置きの手回しカメラに記録する。このような方法でオープン動画を記録した。

観測実験は、2015年3月6日、長野県伊那市、晴れ、夜、に実施された。液晶モニター上でオープンを観測している途中で撮影者がシャッターをきる。すると、連続した動画の一部を切り取った静止画像が得られる。デジカメの撮影者はSDK師(特異功能力保持者)である。この方法による観測実験は8回以上もあり、全部が成功している。

撮影者のSDK師は、彼女の独特の変性意識状態(詳細は不明)で、リラクスと集中を拮抗対峙させて、上記の方法でテストしている(1-2参照)。この詳細については別報で報告する予定にしたい。ここでは、未訓練者(普通人)が、すぐに、実施出来る一例の大略をのべる。

撮影者は、特異な意識状態になる必要がある。つまり日常生活から離れること。その為には、まず、息を止めてみる(少しの間)。すると、雑念が消えて集中し易くなる。気持ちを落ち着かせる。リラクスし、吐く息に強く願いを込め(呼吸を整えて)、意識と無意識を強く拮抗対峙させる(ゼロ場形成)。その後、予め無意識層に刷り込んでおいたイメージ(例、オープンとの情報交換)を意識に昇らせて、サイ(気)現象(オープン)を生起させる。これらを何回も、何回も繰り返す。すると、突然に、御願したオープン(たまゆら)が液晶モニター上に飛び込んでくる(今回は、SDK師、略称が「金星チャン」のオープンの場合を報告する)。なお、「リラクスと緊張を拮抗対峙させる」ことの具体的な手法(詳細は不明)には、様々があると思えるので、



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## オーブ(たまゆら)の動画を撮影する方法について (オーブ出現機構の推定)

佐々木茂美 苗鉄軍 佐藤禎花

オーブ(たまゆら)は、デジタル・カメラ(CCD)を用いてフラッシュ撮影した時に小円径球状のノイズとして写り込んでくる。不思議なことに、意識に反応し、呼びかけに答える。つまり、意識体や霊の投影体に関係があるらしい。または、意識とオーブとの間では情報交換が可能であるらしい、といわれている。一般には、意識と体外にある物質とが情報交換をする現象をマクロPK(念力)という。オーブのPK説を主張する実験結果を得る事が出来るだろうか、または不成立か。出現する為の条件や機構は何か、などを究明するための検討が、いま、要望されている。オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜在しているので非可視である。そこで、近赤外線領域が可視化できるデジタル・カメラの液晶モニター上にオーブを呼び込む(呼び寄せる)。さらに、その動的な変化挙動を調べる。本稿では、これらを主として意識の面から検討することにする。

### 1. オーブ(たまゆら)を出現させる

意識と体外の物質が、直接に情報交換する現象をマクロPKという。マクロPKを成立させる為の条件を知る為には物質面ならびに意識面からの検討が必要になる。

#### 1-1) 物質面からの検討

マクロPKの出現条件を(別報で)調べたところ、相殺ゼロ(正の力と負の力の拮抗による)を離散的に加算した時の変曲点(不安定点)で生起する事が判った。不思議な事に、相殺ゼロには量的な意味があり、ゼロを加算して得られる変曲点(ゼロ場の中のゼロ点)で、意識と物質の変換、ミク

ロ(素粒子)とマクロの変換並びにマクロPKの発生(機能)の起きることが判明した。この応用の一例として、オーブ動画の出現を取り扱う事にする。つまり、オーブの上、ならびに意識の上に、ゼロ場(ゼロ点)を造れば、意識とオーブとの間の情報交換が可能になる、と考える事ができる。

近赤外線領域に存在するオーブ(巨視画像)上のゼロ点は何かが問題である。筆者らはさきに「オーブの巴型双極子モデル」を提案し、このモデルによって、静止画として得られるオーブ像の実験結果がほぼ説明出来る事を確かめた。この「巴型双極子モデル」のなかの核に「ゼロ点」が存在している(前報、PSIJ.2015年5・6月号、No.421等)。

#### 1-2) 意識(精神)面からの検討

人の心(精神)には意識と無意識が含まれており、時間や空間の枠組みを超えて作用しているので捕らえる事はかなり難しい。サイ(気)もほぼ同一である。東洋には、体内を流れるサイ(気)を測定する方法として「脈診(手首の脈波)」がある。意識の科学的な解明は現在のところ不可能なので、著者らは、体内を流れる気(サイ)の流れを、「指尖脈波(指先)」をもちいて、体内の意識とその働きの面から検討することにした。

1000年以上もの永い期間にわたって修行(訓練)が継続されており、実技において最高と思われるチベット密教(医学)では、修行者の修行の過程でサイ能力(マクロPK等)の得られることは至極当然である、と言われる。つまり、修行・訓練を行う事により、「願い事」を得る為の未知能力が得られる。例えば、上級訓練者(南上師、